

遊学

遊びながら 学びながら ときめき発見 YUGAKU

春日部市
生涯学習交流紙

2017. 9

No. 18



〒344-0062
春日部市粕壁東3-2-15
春日部駅東口より徒歩約10分
(月・祝祭日は休所)



郷土資料館

開館日・時間：火曜日～日曜日の
9:00～16:45
(月曜日・祝祭日。臨時休館日あり)
入館料無料

教育センターで遊んで 学びませんか

教育センターでは
様々な講座を行っています



市民パソコンセミナー

基本操作・PC入門編：11月16日、17日
はがき作成編：11月30日、12月1日、2日
※広報10月号に応募方法を掲載予定

遊学1日体験教室



日時 10月28日(土)
10:00～12:00、13:30～15:30

教養・趣味に関する全18教室開催予定。詳細は広報9月号または、視聴覚センターホームページ、各公民館配布のパンフレットをご覧ください。

生涯学習市民塾(中期)



日時
10月7日、18日、26日
11月1日、11日、
12月6日、16日
13:30～15:30
(18日のみ13:00～16:00)
1回のみ参加も可能

詳細は広報9月号または、視聴覚センターホームページ、各公民館配布のパンフレットをご覧ください。

まちの遊学人

ウィークエンドブランチと

藤井 三三さん (大倉)
第九を歌おう



藤井さんはこの原稿作成時に逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

6年前、市民活動センターが開設したのを機に、市民有志が「市民活動センターを応援する会」を結成しました。さまざまな活動を経て、現在の「春日部まちづくり応援団」に発展しました。

その応援団の活動の一として、今年3月に節目の50回を迎えたウィークエンドブランチは、「まちの活性化を願い、まちづくりに寄与したい」という目的をもって、ほぼ月一回のペースで週末の午前、お茶を飲みながら、地元で活動をしています。ちょっとした話を聞いて刺激を受けてみませんか、という発想で企画し藤井さんが担当してきました。ゲストは春日部市民や、市にゆかりの深い人たちや、芸術関係者や経済人、環境保全活動やまちづくりに携わる人など多彩な顔ぶれが登場しました。藤井さんは「みんなよくしゃべる人たち。人と人とのつながり

が一番大切。これから新しい出会いが生まれれば」とブランチの広がりを感じ込みを見せていました。ゲスト探しは口コミで知ったメンバーからの推薦ですが、最近ではSNSで見つけて声をかけるケースもあります。50回続いたことについて藤井さんは「新しいことを知り、新しい人のつながりで輪が広がった。人が人を呼び、お酒を飲まない談話居酒屋風がよかったのではないかと話していました。」



藤井さんは音楽にも力を入れて活動していました。

「飲びの歌」で有名なベートーベン作曲の交響曲第九番「合唱付き」が、日本全国各地で演奏される年末の風物詩になっていますが、春日部市でも「市民の誰でも参加できる第九を」とかねてより多くの声があがっていました。

藤井さんもそれを願う一人で、つ

いに形になったのが、会長を務める春日部音楽振興会が主催となって立ち上げた「春日部で第九を歌おう」でした。

2014年12月の第1回講演が聴衆や参加者から好評で、次の年のふれあいキューブでの公演につながりました。一般公募などによる100名の合唱と、市民オーケストラや高校吹奏楽部合同による第九のために集められた特別オーケストラ、総勢170名の演奏で、立ち見が出るほどの盛りぶりでした。その中心で、会長として、また裏方として奮闘してくれていたのが藤井さんでした。

よきソニーランで絆を

渚川 悦子さん (内牧)



渚川さんは内牧地区を中心として活動している「よきこいソニーラン」の代表です。メンバーは35名で年齢層は2歳から75歳。通常の活動として公民館文化祭、藤まつり、夏まつり等のイベントを埼玉県内各地で年20回程度、その他老人ホーム等ボランティアにも出演しています。

生まれは東京都墨田区で、春日部には昭和53年から住んでいます。元々は日本舞踊の踊り手からはじまり、よきこいソニーランは15年になります。技量維持向上のために練習を週4日2時間続けています。

またチャリティー活動にも精力的です。庄和道の駅でよきこい応援団チャリティー演舞を東日本大震災から6年間、月に1回ペースで休みなく実施しています。これらチャリティーの募金は宮城県気仙沼市に届けられています。また6月には気仙沼市に行き、現地でチャリティーを行うなど極めて行動的な女性でもあります。

キューブに活動の多くを載せています。今後も有意義な活動を継続していくため、特に若い人や子供さんの参加を期待しています。



サークル紹介

お客様の笑顔が一番うれしい

「ぶじょこの会」



どじょう掬いと言えば安来節、手ぬぐいで頬かむりをして、カスリの着物に腰には竹びく、一文銭の鼻あてをまとったユーモラスな姿にだれもがほほ笑みます。

「ぶじょこの会」は、武里地区公民館で毎月2〜3回練習に励んでいる。会員10名、代表は松本始さん。練習では腰を落として独特の歩き方を全員輪になって4分間、息が切れてハアハア、そのあとは曲に合わせ個人レッスン。師範の澤田先生は穏やかな笑顔で見守っています。終わった後に「笑顔を作るときは、本気で笑って」と優しく指導します。踊りの指針は次のとおりです。

- ・稽古は真剣に取り組み
- ・一つの手順を細かく丁寧に



・倦(うます)弛(ゆる)たゆまず焦(こ)らずに
 ・その結果が出るのが本番
 ・努力は報われると信じて
 ・理(ことわり)に基づいた技量を大切に
 ・芸(うま)はつらいが嘘をつかない
 会員は練習に余念がなく、芸を究めようとする心意気が伝わります。成果を披露するため、老人ホームや障がい者施設に出向き、ハーモニーフエスタや武里市民センター祭りにも参加しています。どこで演じても大人気で拍手喝采を浴びています。「その場の雰囲気を一瞬にして和ませ、人を笑顔にするのがこの芸の極致」と松本代表。また「中腰でひざ、腰を使う動作は想像以上にきついです。それでも楽しいですよ。健康に自信のある方は、ぜひ入会を」と呼びかけています。

社交ダンスをみんなです

社交ダンスの会「萌・友の会」



「萌・友の会」は、豊春地区公民館で毎週土曜日の12時から15時まで活動しています。

会員は、男性15名、女性15名で、指導しているのは、小林美恵子先生です。

会の活動は、豊春地区公民館の文化祭に出場、年に2回、他の会場でのダンスパーティー参加、11月には1泊2日のダンス旅行を行っています。

練習は、男性・女性とも黒い服とズボン・スカート姿で、男性と女性が入組になって、音楽に合わせて「ルンバ」「ワルツ」「サンバ」の曲で踊ります。

一人ひとりの会員の目標は、「どの曲でも踊ることが出来るようになること」です。

練習のやりがいは、一つ一つの曲の練習を重ねて、きちんと踊ることができたという達成感です。また、ダンスは多くのステップがあるので、それそれを覚えるのが大変ですが、認知症予防にもよく、続けることが効果的です。長い人では、20年以上も続けている会員がいます。

最後になりましたが、ダンスに興味のある方は、いつでも歓迎します。



生涯学習市民推進員が事業の企画・運営に携わりました

生涯学習市民推進員連携事業

童謡を楽しく歌つ云を

作りました

豊野地区・藤塚公民館

4月から毎月1回、第1火曜日に皆さんと一緒に童謡を歌つ云を作りました。講師は藤原歌劇団のソプラノ歌手でもある高橋朋子先生です。

毎回、歌の基本となる発声練習から始まります。鼻から吸って口から吐く腹式呼吸は一息20秒から30秒です。これが簡単ではなく、速く吐いてしまわないでゆっくりと吐くことによりお腹から声が出る訓練になります。この呼吸法は健康増進にもつながります。確かにこの方法で何度か練習した後では、声の音域や艶に違いが出ます。

「さあ、歌い始めましょう。しばらく経つと先生から「じつじつ優しく、微笑みを浮かべ女優顔でいきましょ」とダメ押しが出ます。確かに歴然と歌が生きて来るのがわかります。先生の教え方が大変ユーモラスで動作が楽しく練習の雰囲気は和みます。楽しいだけでなく、歌の作者の気持ちに沿って歌つよう指導をうけます。

会員は現在約60名。皆さん歳を忘れて楽しく歌っています。藤塚公民館の会場に若い歌声が響き渡ります。



しょうわ塾 着物をリメイク!

あじろ編みバッグ作り講座

庄和地区公民館

2年前、アンケートで今後希望する講座として、着物地を使った小物作りという意見があり、実施したいと思っていました。

ある時、知人の持っていた着物地のバッグが気に入りに、講師を探しました。

公民館だより4月号の募集案内で完成品のバッグ写真を掲載したこともあり、数日で定員の15人に達し、5月16日、23日、30日の3日間、庄和地区公民館での開催が実現しました。

1日目、着物地を7×110cmの12枚に裁断し、アイロンでテープ芯を貼りつける。

2日目、前回の12枚をあじろ編みにする。

3日目、編んだ始末をして持ち手をつけ、裏地を縫い付ける。

1日目は、ケーブルテレビの取材でカメラが入ったり、電気の容量の関係でアイロンが3台しか使用できなかったり、講師・受講者共に緊張していましたが、次回行つあじろ編みの説明をして、予定どおり進めることが出来ました。

受講者が意欲的で、2日目にはあじろ編みが出来ていて、3日目に予定していた作業を終了することが出来ました。

たんに眠っていた思い出の着物が素敵にバッグに変身し、楽しかった。「このまま終わるのは寂しいね。」等の言葉と共に、講座は終了しました。



生涯学習市民塾中期

受講者募集

(10月7日実施)

流星・月・惑星について学ぼう

10月21日オリオン座

流星群を見よう

(10月18日実施)

オリブオイルで石鹸つくり

(10月26日実施)

ガーデニング・

フラワーアレンジ入門

(11月1日実施)

春日部に伝わる民話を学ぼう

(11月11日実施)

ジャズ入門講座

(12月6日実施)

中高年の健康といきがい

〜豊かな老いを創る〜

(12月16日実施)

太鼓を叩いてみよう

詳細は各公共施設にあるパンフレット、もしくは視聴覚センターまでお問い合わせください。

春日部市生涯学習市民推進員

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 飯塚 登 | 市川 実 | 井上喜代子 |
| 大塚 和敬 | 磯谷 健治 | 染谷 昇 |
| 秋元 幸子 | 杉山 充男 | 早坂 隆 |
| 坂 光正 | 富岡 一雄 | 清水 剛 |
| 嶺井美智子 | 藍原 馨 | 小島 直之 |
| 川上 静男 | 山田 農久 | 沖田 隆一 |
| 栗岡 一矛 | 清水 希貞 | 廣岡 伸子 |